



医療法人祐基会 広報誌

Re⁺

Obiyama Central Hospital

【レタス】Vol.13
2025 年秋号

Contents

- **HIKARIBITO**
歌手 元タカラジェンヌ
姫 由美子さん
- **特集**
適切な介護サービスを利用できる
「要介護認定」とは
- **教えてCaco先生**
「風邪」に対する「漢方」は？

交通アクセス・駐車場



帯山中央病院ホームページ
<http://www.obiyama-ct.com/>
帯山中央病院

facebook Instagram



地域包括ケア病床 23床
医療療養病床 53床
計76床

受付

平日 8:30～12:00 / 13:30～17:00
土曜 予約制 8:30～12:00

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	▲
14:00～17:30	●	●	●	●	●	—

⊕ 外来の診療科は曜日により異なります。
担当医などの詳細は受付またはホームページにて。

診療科

内科／消化器内科／糖尿病内科／漢方内科
呼吸器内科／整形外科／疼痛緩和外来

入院の
ご相談

地域医療連携室
直通 096-382-6112
FAX 096-382-3773

介護の
ご相談

おびやま指定
居宅介護支援事業所
直通 096-382-6175

「Re+（レタス）」とは

メールの返信の際に使われる「Re」に
「+（足す）」を加えた誌名に込めたの
は、感謝の気持ちに役立つ情報をプ
ラスしてお返しすること。人との繋
がり大切に、地域に根ざした
広報誌です。

※今回の表紙写真は、当法人が取り組んでい
る「臨床美術」の作品です。詳しくは表紙裏
をご覧ください。



医療法人 祐基会
帯山中央病院

代表

096-382-6111

夜間
休日

096-382-6113

〒862-0924 熊本市中央区帯山4丁目5番18号

医療法人祐基会広報誌Re+【レタス】Vol.13

2025(令和7)年9月発行

企画・編集:広報委員会(村上 誠 村上 歌奈子 難波 崇聡 横山 公海 田中 香
山田 和彦 迫田 幸治 鍋野 英津子 徳永 胡桃 廣野 里佳)



医療法人 祐基会
帯山中央病院

Clinical Art!

アートで「しあわせのおもてなし」 医療法人祐基会は「臨床美術」に取り組んでいます

帯山中央病院の玄関には、祐基会の施設に入居されている方たちが楽しみながらつくられた絵やオブジェが飾られています。その創作活動が脳を活性化させ、認知症の症状の改善を促すと開発された「臨床美術(クリニカルアート)」に、私たちは取り組んでいます。

※「しあわせのおもてなし」は当法人が掲げる理念です
※「臨床美術」および「臨床美術士」は、日本におけるTOPPAN芸造研株式会社の登録商標です

誌上 臨床美術館⑦ 「線と色のコンポジション」

円の重なりによって偶然できた形を見つけ、
オイルパステルで彩ったり、重ね塗りをしたりしました。
鑑賞会では作品の感想を交わし、大変賑わいました。



出来上がった作品



制作風景



鑑賞会の様子

皆様の作品を
Instagramにて
公開しております

帯山中央病院
Instagram



1941(昭和16)年11月27日生まれ。玉名中学校から尚絨高校を経て宝塚音楽学校。宝塚歌劇団47期生(雪組・星組)

心を照らす あたためる
HIKARIBITO
ひかりびと さん

がんなどの闘病経験も糧に 「今」を生き、歌う

歌手 元タカラジェンヌ

姫 由美子さん
Yumiko Hime

季節ごとに開く祐基会のロビーコンサート。渡邊賀子理事長や職員に加わって、素晴らしい歌声を披露してくださっているのが、元タカラジェンヌの姫由美子さんです。今年84歳になる姫さんの「歌とともにある」人生について伺いました。

16歳で宝塚音楽学校へ

「宝塚歌劇団に挑戦されたきっかけは？」
姫 高校の修学旅行で東京に行った時、SKD(松竹歌劇団)を見て感動し、「入りたい」と思いました。そこで合唱部の顧問の先生に相談したところ「それなら宝塚を目指しなさい」とアドバイスされたのがきっかけです。指導いただき受験したところ、1回で合格。まだ16歳でした。宝塚の寮に入って音楽学校生活がスタートすると、子どもの頃から大好きだった歌のレッスンは厳しくも楽しく、全日本学生音楽コンクール声楽部門で1位になることができました。宝塚音楽学校生では初ということでした。一方、経験がなかったダンスやお芝居では苦労もしました。特に熊本独特のイントネーションの矯正は大変でした。先生から「帰省しても良いけれど、一切熊本弁で話してはいけない」と言われ、頑張って守ってきました。

日野原先生とチャリティーコンサート

「退団後の活動を教えてください。」

姫 27歳で退団し、東京の大きなホテルで歌っていたところ「イギリスで日本の歌を歌ってほしい」とスカウトされ、渡英しました。世界中のいわゆるVIPと呼ばれる方々の前で「さくらさくら」や「荒城の月」などを歌い、大変喜んでいただけました。そんな中、体に違和感があり受診すると「日本に戻って手術した方がいい」と言われて帰国。「悪性リンパ腫」と診断されたのは30歳過ぎた頃でした。40代で



帯山中央病院の夏のロビーコンサートで

話を聞いて...

病氣や加齢に伴う変化があっても一切言い訳をしない。常に「今」を輝かせる姿勢は、素直で謙虚で情熱的。だから、姫さんの歌は胸の奥底まで届くのだと思いました。(もこみ)

は「胃がん」も経験しました。その後、ご縁があつて、聖路加病院理事長を務められた日野原重明先生と毎年、ホスピスへのチャリティーコンサートを開催したのは、まさにライフワークといえるものでした。

しあわせは自分の心が決める

「熊本に戻られてからの生活は？」

姫 コンサートを開いたり、オフアートをいただいて歌わせてもらったという日々です。私の歌に何か感じていただけたらと励みになります。以前、沖縄で「愛の賛歌」を歌ったとき、とても若いお客さまたちから大きな拍手をいただき、ある青年から感動しました。結婚したいと思いましたと言われたのはうれしかったですね。年齢的に体調が不安定になることもありですが、言い訳せず「今の状態」で歌うことを大事にしています。人生は今しかない。「しあわせはいつも自分の心がきめる(相田みつを)」。そう思いながら生きています。

適切な介護サービスを利用できる 「要介護認定」とは

病気や加齢などによって、自分や家族に「介護が必要かも？」と感じたとき、どうすればいいのでしょうか。適切な介護サービスを受けることで、不安や不自由さの解消につなげたいものです。今回は、要介護認定の方法などをお伝えします。

教えてくれるのは…

おびやま指定居宅介護支援事業所(おびやま居宅)

左から 荒木恭子、野田愛子、管理者 池田祐子、横山公海



Q 要介護認定ってどうするの？

A 「居宅介護支援事業所」などに相談を
申請の代行を依頼することができます

お住まいの地域には、私たちのような「居宅介護支援事業所」や、熊本市では「高齢者支援センターささえりあ」と呼ばれる「地域包括支援センター」があります。どちらでも認定申請のアドバイスや申請手続きの代行をしますので、気軽に相談してください。

その際に、かかっている病院の診察券やお薬手帳、医療保険証、介護保険証、お持ちならマイナンバーカードを持参いただくと、スムーズに申請の代行ができます。皆さまに代わって申請することを明確にするために印鑑もお持ちください。

また、要介護認定には主治医の意見書が必要です。あらかじめ主治医に「要介護認定を申請したいので主治医意見書を書いてほしい」と伝えておくと、より迅速に手続きが進みます。

申請後、お住まいの市区町村の訪問調査が行われ、1月から1か月半後に要介護状態の区分が記された介護保険被保険者証が送られてきます。



Q 認定結果が出たら、どうすればいい？

A 相談した事業所にご連絡を
ケアマネが介護サービスを一緒に考えます

介護保険証が届き、ご自身やご家族の要介護度が分かったら、相談した「居宅介護支援事業所」や「高齢者支援センターささえりあ」にご連絡ください。ケアマネジャー(ケアマネ)が、ご本人やご家族のご希望を伺いながら、どんな介護サービスをどのように利用するといったかを一緒に考えます。

要介護状態の区分は「非該当(自立)」と「要支援1～2」「要介護1～5」があります。要介護の場合は「ささえりあ」ではなく、「居宅介護支援事業所」が担当します。

Q 介護が必要な人が入居できる施設は？

A 施設別に異なる入所条件や費用
「おびやま居宅」が丁寧に説明します

要介護3以上が入所条件となる「特別養護老人ホーム」、認知症と診断された要支援2以上の方が入れる「グループホーム」、入浴や食事などのサービスが受けられる「介護付き有料老人ホーム」などがあります(右図)。

費用や施設の特徴などさまざまです。おびやま居宅」にご相談ください。資料やパンフレットを用いて丁寧に説明いたします。当法人にもグループホームと住宅型有料老人ホームがあります(写真)。

Q 「おびやま居宅」の特長は？

A 専門的な資格を持つスタッフ
豊富な経験で適切なサービスをサポート

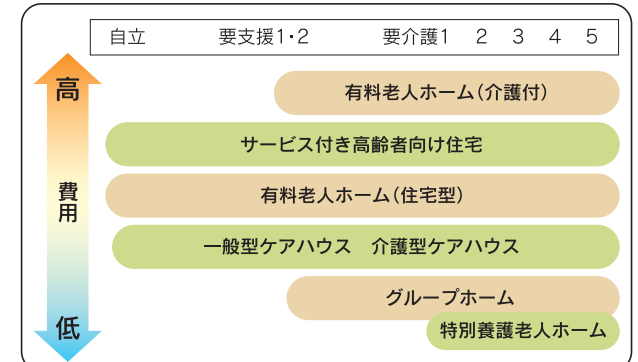
要介護認定を受けた方のケアマネジメントを行う主任介護支援専門員が3人、介護支援専門員1人の4人体制で対応しています。それぞれが「管理栄養士」「社会福祉士」「介護福祉士」「看護師」という異なる専門的な資格を持ち、ケアマネジャー歴25年という経験豊富なケアマネもいます。「介護保険サービスを利用したい」と考えられている方は、ぜひお早めにご相談ください。

■介護保険で利用できるサービスは大きく分けると…

- 介護サービスの利用にかかる相談、ケアプランの作成
- 自宅で受けられる家事援助等のサービス
- 施設などに出かけて日帰りで行うサービス
- 施設などで生活(宿泊)しながら、長期間又は短期間受けられるサービス
- 訪問・通い・宿泊を組み合わせで受けられるサービス
- 福祉用具の利用にかかるサービス

厚生労働省ホームページから

■高齢者向け住宅の費用と種類の基準



「高齢者の住まいと生活を応援する情報誌『た・よ・り』」から一部改変



住宅型有料老人ホーム ケアホーム
おびやま/グループホーム六花苑



グループホーム悠祐

お気軽にお問い合わせください

おびやま指定居宅介護支援事業所 平日8:30～17:30 TEL 096-382-6175



2病棟 トーターポーさん



友和会 比地黒亜由美さん



友和会 石田誠さん



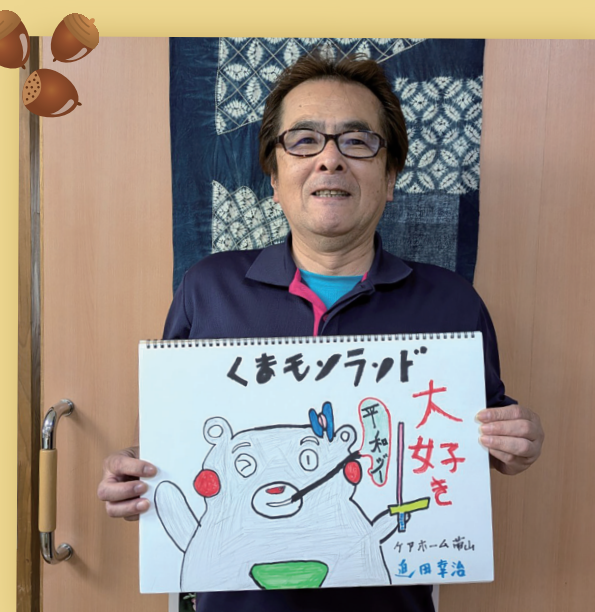
総務課 吹田純子さん



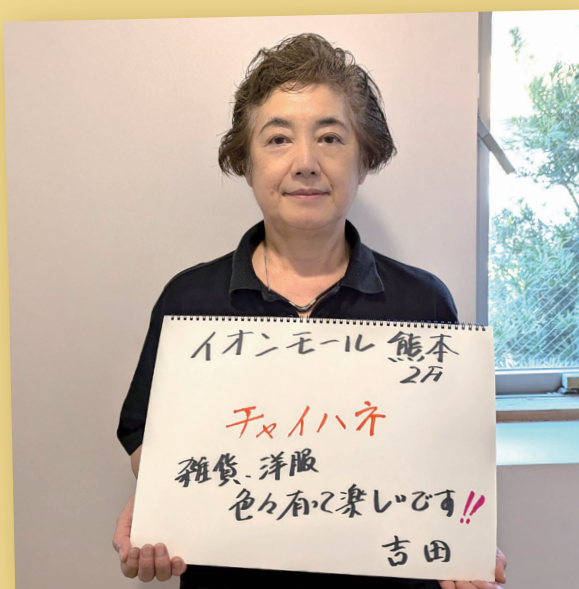
薬局 内田隆徳さん



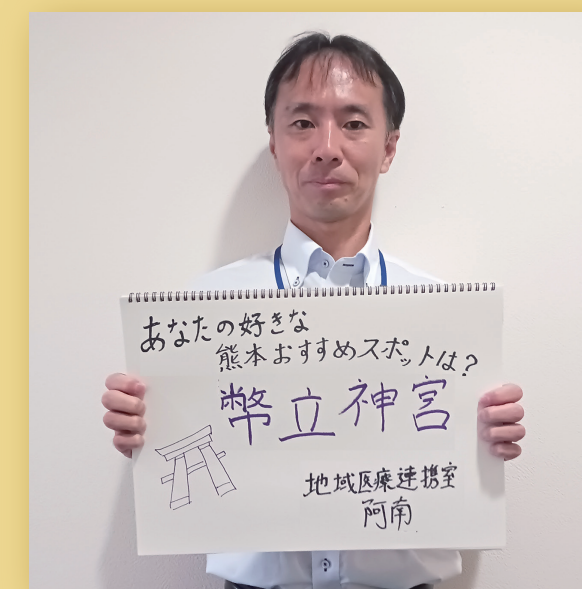
総務課 村尾和美さん



ケアホームおびやま 迫田幸治さん



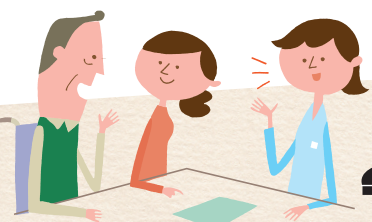
グループホーム六花苑 吉田普美子さん



地域医療連携室 阿南吉紀さん



ケアホームおびやま 田中香さん



しあわせのおもてなし×専門職の記録

「おもてなし専記」

第12話 グループホーム六花苑・
ケアホームおびやま調理

入居者さんの状態に合わせた形態で 「温かい物は温かく、冷たい物は冷たく」提供

帯山中央病院に隣接する建物1・2階にある「グループホーム六花苑」、3階の「ケアホームおびやま」は、合わせて最大29人が暮らす高齢者施設です。調理に携わる谷口まつみさん、東きよ子さん、大川玲子さんに話を聞きました。

一どのような食事を提供していますか？

食材納入業者の管理栄養士による地産地消にこだわったメニューを、入居者皆さんの状態に応じて「普通食」「一口大」「刻み」「ミキサー」「ムース」と、異なる形態で提供しています。正月やクリスマス、また各月の特別メニューは、入居者さんの希望を聞きながら私たちが考えています。皆さんの状態によって同じ物を出すことができませんが、豪華な雰囲気感激してくださいます。

一業務で気をつけていることは何ですか？

準備から盛り付け、配膳、見守り、下膳まで、各入居者さんの食事のペース配分を考えながら「温かい物は温かく、冷たい物は冷たく」提供することを心掛けています。

また、異物の混入、キッチンに危険な物が置きっ放しにならないなど、細心の注意を払っています。

一仕事のやりがいや楽しみは？

入居者さんは一番と言っていいほど食事を楽しみにしておられます。手作りのおやつに「楽しみにしていたよ！」「おいしかった」と言われると、とてもうれしく笑顔になれます。そんな“楽しみ”を提供するため「待たせない。だけど作り置きはしない！」と毎日頑張っており、充実感や達成感があります。

医療法人祐基会にはさまざまな職場があります。それぞれの部門で専門の力を発揮するスタッフの仕事ぶりをお伝えします。



左から東きよ子さん、谷口まつみさん、大川玲子さん



おやつ作りに腕を振ります



ある誕生日会のメニュー。炒り卵と鮭フレークのちらし寿司。「珍しい」と喜ばれたカボチャのいとこ煮や大好きなフルーツをたっぷり！

入居者の皆さんと変わらないくらいの年齢ながら、プライドを持って仕事に向き合い頑張っている姿はとてもカッコよく、私たちの励みになります。法人の中には、なかなか表立って見えないけれど、縁の下で力強く支えてくれる仕事がたくさんあります。(タナカ イラストも)



医療法人祐基会
帯山中央病院
理事長／漢方専門医
渡邊 賀子

教えて Caco先生

「風邪」に対する「漢方」は？

秋から冬へと季節が変わる頃から増え出す「風邪」。「漢方」では、どのようにアプローチするのでしょうか。今回は、風邪に対する漢方医学の考え方や漢方薬の処方についてお届けします。

【感染症から「体を守る」 漢方の考え】

新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的な大流行)以降、「寒気がして喉が痛いけど、風邪かな？」と感じた時、コロナやインフルエンザなどと区別がつかず、どう対処したらよいか悩む方が増えています。

漢方医学は、病原体が何であるかによらず漢方薬で生体防御能を最大限に生かし、感染症から体を守る取り組みをしてきました。

約1800年前に中国で書かれた書物「傷寒論」^{しょうかんろん}には、「自分の一族は元々 200人以上いたが、10年もたたないうちに7割が傷寒という急性熱性病で死んでしまった」という序文があります。この傷寒のために創薬された漢方薬の一つが、風邪薬として有名な「葛根湯」^{かつこんとう}です。

【症状や体質などから漢方薬を処方】

漢方薬は、「寒気がする」「頭が痛い」「喉が痛い」といった症状、発熱や発汗の有無、発症の時期、「もともと体温が低く高熱が出にくい」「胃腸が弱い」などの体質も考慮して処方します。感染症の初期は、体を温かくして、なるべく早くて確かな薬を飲むことが大切です。

「葛根湯」は、胃腸が丈夫で比較的体力のある人の「背中がゾクゾクする」といった風邪の初期症状に有効です。同じような症状でも、日頃から胃腸が弱くて体力がなく、熱が出にくいタイプには「桂枝湯」^{けいしとう}や「香蘇散」^{かうそさん}が使われます。また、高齢者や体力のない方で寒気と喉の痛みで始まる場合は「麻黄附子細辛湯」^{まおうぶしさいしんとう}などを用います。



【初期症状を把握して主治医に相談を】

日頃からご自身の風邪の初期症状を把握して主治医に相談すると、自分にあった漢方薬を処方してもらい、いざという時にすぐ飲むことができます。

とはいえ、予防に勝る治療法はありません。日頃から体力に自信のない方は、「補中益気湯」^{ほちゅうえっきとう}などで抵抗力を付けておくと、風邪を引きにくくなるのでお勧めです。

「予防に勝る治療なし」です。漢方薬なども用いて、日頃から抵抗力を付けておきましょう。





帯山公民館として昭和40年9月26日に開設。以来、地域の拠点として60年の歴史を刻んでいる

誰でも気軽に利用できる施設で 新たな趣味や生きがいの発見を



和室や多目的ホールなど

帯山中央病院の北側、帯山小学校の南西角に隣接する場所にある「帯山地域コミュニティセンター」は、地域の皆さんの趣味の集まりや学びの場などに活用されています。

「地域コミュニティセンター」とは、熊本市の条例に基づいて設置された「公の施設」で、子どもからお年寄りまで幅広い年代の市民が誰でも利用しやすい価格で借り、使うことができます。

多目的ホール、和室、調理室、会議室を備え、広さや設備に応じて柔軟に利用できます。ここ帯山地域コ



使い慣れたキッチンで調理する更生保護女性会の皆さん

この日、調理室で行われていたのは、更生保護女性会によるお弁当作り。過去に罪を犯した人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体である同会。お弁当は、更生保護施設で本格的な社会復帰を目指して働き暮らす人たちの差し入れの夕食となるものだそうです。

優しいまなざしで「時には「おふくろの味」が食べられると良いでしょう」と言いながら、手際よく調理が

コミュニティセンターでも、和室は習字や学習教室などに、会議室は囲碁などに、多目的ホールは町内ごとのサロンや会議などに利用されているそうです。

調理室ではお弁当作りが



建物の前に立つ南 空澄架さん。「夏祭りや二十歳の集いなども催しています」

誰かと会える貴重な場所

自らも「帯山育ち」という職員の南空澄架さんは、「ご利用者の皆さんは、私たち職員の手伝いを「当たり前」と思わず、「ありがとう」と言ってくださるような方が多いです。頼りにしてもらえ、やりがいがあります」と話します。

また、「今は、人とメールや電話でコミュニケーションしても、直接会う機会が少ない時代。コミュニティセンターは、来れば誰かと会える貴重な場所でもあります。新たな趣味や生きがい発見につながるお手伝いができればうれしいですとも。何かを始めたいけれどどうしていいかわからない人や、サークル活動をしたい人など、一度顔を出して相談してみるのが良いかもしれません。」

帯山地域コミュニティセンター

熊本市中央区帯山4丁目11-43

TEL/FAX: 096-384-5829

利用時間: 午前9:00~12:00

午後13:00~17:00 / 夜間18:00~22:00

休館日: 毎週月曜日、祝日、年末年始、お盆



【取材を終えて】

ぜひ、たくさんの方々にコミセンを利用してもらい、趣味や生きがいの発見、懐かしい人や新しい仲間と出会う楽しく過ごしてほしいと思いました。(よこやま)



こんにちは!「ゆうゆ」です。

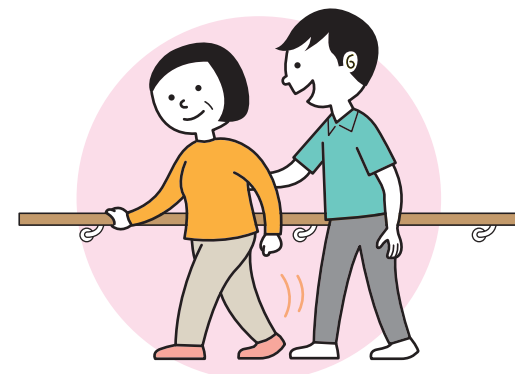
帯山中央病院のマスコット、家族型ロボットの「ゆうゆ」です。今回は、最近気になっている「リハビリ室」に行ってみたんだ。そこで働いているリハビリスタッフに、話を聞いてきたよ。

「リハビリ」って、どんなことをしているの?

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)・歯科衛生士ら専門職がチームとなって、リハビリ室にある平行棒や階段、その他のリハ機器などを使いながら、患者さんに必要な機能回復の訓練をお手伝いしています。

Q リハビリって何?

リハビリは、「リ(再び)」と「ハビリテーション(適した状態にする)」を組み合わせた造語です。病気やけがなどで「できなくなったこと」を「“再び”できるようにする」ためのさまざまな取り組みを指します。



Q なぜリハビリが必要なの?

退院後、以前となるべく同じように自宅で暮らすために、今できることを増やしておくためです。専門職の人たちと一緒に頑張れば「できる」ことが増え、安心です。

Q 具体的には何をするの?

歩く・立つ・座るといった基本動作の練習や、手先を使った訓練、言葉や飲み込みの訓練など、患者さんの現在の状況と課題に応じて、「体と心を動かす」練習を支援しています。



一人一人に合ったリハビリを、専門職の技と心で支えているんだね

頑張る皆さんの隣でそっと応援しているよ